



府中市立南白糸台小学校

幸が森だより

URL <http://www.fuchu19s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

令和5年5月31日

NO. 561

校長 西尾 克人

TEL 042-365-5381

FAX 042-334-0883

開校記念日に思いを馳せて

副校長 田村 香代子

「副校長先生、報告があります！」5月22日（月）の中休み、ホタル委員会の子供たちが興奮した様子で職員室に来ました。今年も無事にホタルが成虫になったとのことでした。早速ホタル部屋に行ってみると、小さなホタルの成虫が愛らしい姿でじっと夜を待っているのを発見して、私も思わず拍手をしてみました。「南白と言えば『ホタル』」というイメージを校内外共にもっている中で（子供たちが考えた50周年記念事業の航空写真デザインも、ホタルをモチーフにしたものになりました）、飼育に関わる委員会の子供たち、教職員、地域の方々みんながある程度のプレッシャーを感じていたので、本当にうれしい瞬間でした。

教育実習生が「ホタルを見たことがありません」と言っていました。同じことを言う教職員もいます。南白のホタルは見たことがあるけれど、自然の中でホタルを見たことがないという職員もいます。私は幼いころ、雨上がりの翌日に父に連れられホタルを見に行った記憶が鮮明にあります。川辺を飛び交う無数の光を眺めるだけではなく、竹ぼうきを使ってホタルを捕まえ、家で蚊帳の中に放して光の中で眠りにつく経験をしました。ただ、捕まえて家に連れ帰ったのは一度だけでした。朝目覚めると多くのホタルは下に落ちて動かなくなっていたのがあまりにショックで、次からは自然の中で見ることを楽しむようになったからです。南白糸台小学校のせせらぎ広場でも、かつてのように自然の中を悠々と舞うホタルが見られるようになるとよいのにと、夢を膨らませているところです。

先日はそのせせらぎ広場の清掃活動をPTAの協力委員のお手伝いをいただきながら多くの子供たちも参加して行いました。南白糸台小学校の自慢の一つであるせせらぎ広場を学校・地域・保護者がタッグを組んで守っていることに誇りを感じています。南白糸台小学校としてつなぐべきものの一つです。

今回はお父さんの参加が多かったです。子供たちも池の藻をすくったり、草むしりしたりと大活躍でした。



雨の中でしたが、きれいになったせせらぎ広場を教育長 酒井先生にも見ていただきました。この広場が教育活動でも活用できているのは、せせらぎ会、そして地域協力者の方や保護者の方のご協力の賜物であることを伝えました。

本校は今年創立50周年を迎えます。昭和48年4月に開校し、その年最初の入学式が行われ、40名の新1年生が入学してきました。また翌年校歌ができて、6月10日を開校記念日に定めたと記録に残っています。10周年の時に「愛の泉」、30周年の時に「せせらぎ広場」ができて、今も大事にしている場所です。50周年では、「愛の泉」の碑の横に、「校歌碑」を建立します。また新たに大事にするものが本校に増えます。引き継がれるものは「もの」だけではなく、その根底にある心だとも感じています。6月10日の開校記念日を迎えるにあたり、50年の長い月日に思いを馳せ、南白糸台小学校を卒業していった多くの先輩方の「心」も感じながら自分たちの学校を大事に思う子供たちに育てていきたいと思えます。そして、それはこの学校につながる多くの方々とのつながりを大事にすることだとも伝えてまいります。